

第14回近畿小児血液・がん研究会看護部門講演会

テーマ「AYA世代のがん患者の妊孕性温存について」

抗がん剤や放射線治療などの“がん治療”によって妊孕性がダメージを受けることが知られています。そのため、AYA世代のがん患者さんが将来お子様をもつことができるよう、希望をもってがん治療にのぞむことができるよう妊孕性を温存する取り組みがなされています。この講演会では、妊孕性温存について、基本的な知識、現在行われている取り組み、看護師としての関わりについて学び、患者さん一人ひとりのニーズに合わせた支援ができるように深めていきたいと思えます。

日時：2021年7月11日（日） 14：00～17：00

会場：Web 開催（Zoom）

講師：大八木知史先生

独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院 産婦人科 産科担当部長

参加費無料
事前申込

参加申し込み：参加希望の方は、事前にメールで施設名と職種、参加者名を下記メール宛てにご送信ください。後日、参加者宛てにURLをお送りします。

申込先：近畿大学病院 中島陽子

youko.nakajima@med.kindai.ac.jp

申込期日：7月5日（月）

お問い合わせ

近畿大学病院 安全対策室 中島陽子

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

☎072-366-0221（病院代表）内線 3148

主催：近畿小児血液・がん研究会看護部門